

Aki Fukakusa(Shin-Kin)

深草アキ(秦琴しんきん) コンサート

深草流音空間の夕べ「蔵」



NHK金曜時代劇「蔵」の音楽担当をした深草アキさんの第3回コンサートを開催いたします。撮影現場となった渡邊邸で「蔵」の主題曲をはじめ、深草流の音空間をたっぷりと味わっていただきます。

開催日時:平成 20 年 6 月 7 日(土) 午後 6 時開場 6:30 開演

共 演:豊 剛秋(笙奏者)

開催場所:国指定重要文化財渡邊邸

参加費:¥3,000

定 員:250 名

お問合せ:渡邊家保存会 電話 0254-64-1002
新潟県関川村下関 904
メール info@watanabe-tei.com

プロフィール:

愛知県出身。慶應義塾大学卒業後、当時日本を代表するロックバンドの一つ「ファー・イースト・ファミリーバンド」でベーシストとして活躍。

国内外でのコンサート・ツアーなど10年近くのバンド活動後、ベースの地をもっとストレートに自分の音楽を表現できないものかと模索していたそんな中、1979年、街の古民具市で、今まで見たこともなかった弦楽器と天啓のように出会う。

後になりこの楽器が中国の古楽器「秦琴」という事が判ったのですが、当時「秦琴」に関する情報がなかったため、半分朽ちかけていたこの楽器を自分の手で修理し、そして弦は絹糸にこだわり、その太さを決め、調弦を工夫し曲を作り、様々なエフェクターを組み合わせ、中国伝統音楽とは違う独特の音世界を、すべて彼自身の感性の中で創りあげてきました。

1986年、最初のアルバム「秦琴」をリリース。その深草流とも言える独特の音空間により、舞台、テレビドラマ、CFなど映像表現の世界からの作曲・演奏の依頼も多く、その音楽性に国際的な評価も高まっている。

最近では通常の演奏活動の他、美術館やギャラリー、語りとのジョイント、他の分野のアーティストとのコラボレーション、伊豆高原「花吹雪」での定例コンサートなどその活動を広めています。

平成7年NHK金曜時代劇「蔵」の音楽担当を行いました。また、深草アキ「蔵」サウンドトラック（レーベル：オーマガトキ）が発売されています。撮影舞台となった渡邊邸でのコンサートは彼がずっと望んでいたことでもあり、昨年に続き2回目のコンサートです。



秦琴とは:

二千年以上前の遠い昔、中国の漢帝国、武帝時代に、秦琴の前身とも言える一つの弦楽器が出現しました。

晋の時代の傅玄（217～278）が表した、《琵琶賦》には次のように書かれている。

『前105年、武帝の娘として「劉細君」が、北異民族国家「烏孫」の王に嫁ぐにあたり、馬上で奏でる楽器を音楽学者達に命じて作らせた。

その楽器の形を見ると、空洞の胴体が、天・地を表し、丸い形の胴がまっすぐな柄が陰陽を表し、柱（フレット）が十二の律呂に配され、四弦が4つの時（春夏秋冬）に則とっている』

そんな二千数百年の時の流れを汲んだ弦楽器が、秦琴なのです。

現在、中国では専門に演奏する人はなく、民間音楽としては、広東省の潮州音楽や道教の音楽等に使われています。